



東陽の旋風^{かぜ} ～自律貢献～

令和6年3月8日（金）No.42発行
文責：松本 卓也

旅立ちが近づいています・・・

本日、第55回卒業証書授与式を挙ります。いよいよ旅立ちのときです・・・。
昨日行った修了式では、「修」の意味をもとにこの1年で集団として、個人として成長したと思うことを一人一人に伝えました。一人ひとりがなりたい自分を思い描き、それに向かって努力を積み重ねてきました。時には友人や家族、先生と気持ちがあふいたり、勉強や部活動が上手くいかなかったりしたこともあったでしょう。でも、そのたびに、周りの人達に支えられ、自分の言動を振り返り、あらゆる他者を尊重すること、多様な価値観・考え方をもち人々と協働することなど、社会人として大事なことを身につけてきました。10人全員が揃って卒業式に参加できることを本当に嬉しく思います。生徒発表では、代表のUさんが未来に向けての決意を力強く述べてくれました。



東陽中学校で過ごした日々の一つ一つが、私にとってかけがえのない宝物です。高校に行っても中学校で身につけたことを生かして、勉強と部活動の両立を目指して頑張っていこうと思います。

また、昨年まで本校に勤務されていたN先生が、祝詞を届けに来校され、練習を見守ってくださいました。子どもたちが合唱を披露した際には、感極まって涙ぐまれました。「この子たちは1年生から知っているの・・・。」卒業生がいろいろな人に見守られ、愛されていることを改めて感じました。お別れするのはとても寂しいですが、旅立ちの時間をみんなで祝い、感動を共有したいと思います。**“Congratulations on your graduation!”**



「石工の郷 八代」の魅力を更に伝えるためには

八代市日本遺産活用協議会では、日本遺産のストーリー・構成文化財をはじめとした八代市内全域の歴史文化や、観光スポットなどの魅力を、地域事業者や地域住民が自ら発信・紹介・活用していく機運を醸成することを目的として、ガイド講習会を昨年度より実施しています。今年度は、2月29日（木）、本校生徒を対象に行われました。講師は、NPO法人まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会のH代表理事様です。日本遺産の伝え方では、「○文化財を保護するだけでなく、観光資源として活用する取組、○干拓施設、石垣、棚田、まちづくりや民俗芸能も構成文化財、○干拓は、現在もい草やトマトの恵みをもたらしている、○特別な評価を得られずとも仕事に尽力した石工のすごさ、○阿蘇火山の噴火によりできた溶結凝灰岩が材料」、ガイドとして大切なことは、○まずは、自分が感動・楽しむこと、○話すときは、目立つこと・しっかり大きな声で伝えること、○カンニングもOK、自分で理解しにくかったことは図や写真など道具を使いましょう、○はじめと終わりのあいさつも大事等々、ガイド力によって更に魅力を伝えるコツをたくさん教えていただきました。「みなさんの頑張りが八代の未来につながります」いただいたメッセージに応えられるよう、子どもたちとともに魅力を発信していきたいと思います。H代表理事様、ありがとうございました



※ご意見や感想をお待ちしています。「見ました」の一言でも構いません。

保護者名（ ）